

ふれあい新聞

昭和62年10月5日

4号

田中野田町内会

“87田中野田夏まつり” 大成功のうちに終る

『明るいまち、きれいなまち、楽しいまち』をテーマに、去る8月8日(土)第4回田中野田夏まつりがにぎやかに行われました。

年々盛大な夏まつりができ、大変喜んでおります。

今回は、開催前のアクシデント(火事)にもめげず、皆様のご協力のもと立派な夏まつりが出来大変ありがとうございました。

各種団体のご協力心から感謝致します。

又、今回初めての試みで最大のイベントでもありました「田中野田まつり太鼓」が、皆様の協力により盛大に行なうことができました。

今後とも田中野田の伝統的祭太鼓として残したいと思えます。そしてみんなが参加でき、又子供たちの参加もできる楽しい、「田中野田まつり太鼓」にしたいものです。

今後のアイデアをおまちしております。

中学生、高校生の皆さん特に期待しています。

“田中野田まつり太鼓”を 終えて、堤リーダーに聞く

◇まず“まつり太鼓”を終えられて感想をどうぞ◇

「その前に、この場をおかりして、この太鼓をやるにあたり夜おそくまで練習をさせて頂き町内の皆様、特に公会堂近辺の方々たいへんご迷惑をおかけした事、お詫びすると共に、ご協力に心から感謝いたします。本当にありがとうございました。

太鼓については、まだまだといったところもたくさんありますが、まァー、どうか町内の皆様にも喜んで頂き、われわれ6人が、一つの目標に向かって一生懸命“汗”したという事が、想像以上に、『やりとげた。』という満足感でいっぱいですね。

◇その練習ですが、どこかの流派を参考にされたのですか？◇

「いえ、まったくのわれわれ6人の自己流でして、いうなれば『田中野田流男太鼓』とでも言うておきましょうか。

それでも基本の打ち方など様々なご指導は、白友会の白石先生に、お世話になりました。ありがとうございました。

又、演出とカリズムとかは、6人銘々に、『ああでもない』『こうでもない』など、色々意見が出ましてね、なかなか決らず時には険悪なムードになるほど、まるでチェッカーズのレコーディング風景そのものですよ。まァー、それだけみんな一生懸命だったと言うことでしょうね。」

◇ところで聞くところによりますと、太鼓を終えて、

倒れた人もおられたとか、本当ですか？◇

「はい、本当にハードでしてね、皆さん仕事で遅くなってなかなか練習時間が取れないんですよ、ですからどうしても無理が重なったみたいで腰を痛めて注射を打ちながらやった者とか想像以上にたいへんでした。」

◇これからはこの太鼓をどの様にされるつもりですか？◇

「あくまで町内の盆おどりの行事として、許されるものなら来年、再来年ともしっかりと研究、練習し、田中野田独自の形として残したいですね。」

それから人数ももっと増やしてスケールの大きな物にしたいですね。希望者の方がおられたら、どんどん私の方まで申し出てください。健康のためにも、ストレス解消にもたいへん役立つと思います。そして遠い将来には、大阪の梅田コマ劇場でもやりたいですね。」

◇これは又、大きな夢ですねー◇

「はい、私のモットーは『夢は大きく、お金に細かく』です。まァー、冗談はともかく何かの形で町内の活性化に少しでもお役に立てたことが本当にうれしいです。

この様な場を与えてくださり、又ころよくご支援くださった町内の皆様に改めて感謝致します。本当にありがとうございました。これが6名の心よりの気持ちでございます。

今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。」

田中野田まつり太鼓一同
小橋 郁夫 木村 強 安本 末広
山上 幸男 堤 国夫 片山 博之



夏まつりに始めて参加して

夏まつりは、その地域の氏神に秋の豊作を願うため、奉納する夜まつりというイメージがありました。

今年田中野田の町内にお世話になり、夏まつりも所変われば品変わるで、まつりのやり方、形態が違うのに考えも新たにしました。

毎年8月初旬、夏の真っ最中に行なわれ、町内の地域活動の一環行事として根をおろしている様に思われます。

まつりを盛り上げるための踊りの練習、ステージづくり、夜店の準備等、町内の役員をはじめ、町内会の皆さんが一致協力し休みを返上し、また夜遅くまで毎日ご苦労様でした。

私もその一人としてお手伝い出来たことを、うれしく思っております。

準備もたいへんでしたが、私は、この手作りまつりの終わったあとのやりおえたという充実感は忘れることができません。

夏まつりを通し、さらに田中野田の地域活動の和が広がることを考えてやみません。

(矢倉 富栄)

レクリエーション設備 復旧資金援助へのお礼 「夏まつり」支出報告

さる8月8日第4回の「夏まつり」が盛大に挙げてまいりました。またこの設備資金について会員の皆様にご無理をお願いいたしましたところ205名の方から420,300円という多額の御芳志を頂き感謝に堪えません。紙上をかりて厚くお礼申し上げます。

なお夏まつりの支出について次のとおり報告させていただきます

| 支 出 | | |
|-----------|---------|------------|
| テント(2張) | 160,000 | |
| 舞台材料 | 74,800 | |
| 電気設備 | 126,000 | |
| ゴザ | 12,680 | 小計 373,480 |
| うち | 25,200 | |
| たる太鼓、ばち | 24,600 | |
| 花火 | 25,000 | |
| 諸謝金 | 50,000 | |
| 花束、景品代 | 15,820 | |
| 準備、片付、その他 | 55,330 | 小計 195,950 |
| 合計 | 569,430 | |